

・発行日  
・51・6・28  
・発行  
岡崎市AVL  
・編集  
広報委員会

市内・市外より七〇〇人を越す参加!!

「岡崎市放送教育研究大会」盛会に終る

去る六月二十二日(火)三島小・竜海中両会場  
で開催された市制六十周年記念・家康公三六〇年  
祭記念「岡崎市放送教育研究大会」は、早朝から  
続々と参会者がつめかけ、教職員関係四三〇名、  
PTA関係約三〇〇人、計七三〇人(会場校職員  
を含む)と予想以上の参会者を得、終日熱気にあ  
ふれた大会となりました。岡崎の視聴覚教育の今  
後の方向づけを意図したこの大会で、得た数々の  
貴重な話しあいや発表をもとに、来年の県大会へ  
向けて、大きく前進していきたいものです。

ここに大会の概要をご報告いたします。

一分科会

○第一分科会(小学校社会・TV)

TVの位置づけ、視聴後のとり扱い、視点の  
与え方などが話しあわれた。また視聴中のメモ  
はTVに集中させるためなるべくとらない方が  
よいとの助言もあつた。

○第二分科会(小学校社会・自作教材)

自作教材「消防暑のはたらき」を例にして、  
自作教材の活用、今後の制作における改善点が  
話し合われた。視聴覚部と教科部会の協力がぜ  
ひ必要である点が強調された。

○第三分科会(小学校理科・TV)

TVの位置づけ、視聴ノートのとり扱いにつ  
いて意見交換があつた。特に、TV利用での教  
師の主体性の必要や、情意面での研究が今後必  
要であることなど話しあわされた。

○第四分科会(小学校道徳・TV)

視聴体制(指導計画)評価の二点で話し合い  
がなされた。特に、実践化という点で二時間に  
して問題にとり組ませるとよいという意見が多  
く出された。

○第五分科会(小学校PTA・TV)

TV「反抗と自立」を使つての学習公開の後  
熱心な話しあいが行われた。母親がしつかりす  
ることが一番だいじである点に意見が集中した。

○第六分科会(中学校社会・TV)

①カリキュラムへの位置づけ、②視聴ノートのとらせ方、③視聴後の学習展開の三点について話し合われ、特に、授業に与える放送の効果がいろいろ話し合われた。

○第七分科会（中学校理科・TV）

中学校会場では最も多数の出席者があり、テレビと実験、カリキュラムへの位置づけ、分断視聴とまるごと視聴の利点について等、多方面にわたって話し合われた。

○第八分科会（中学校保体・VTR）

VTR利用の効果が大きい点、設置方法や、効果的なタイミングのとり方など話され、カガミの利用への認識が一段と深まった。

○第九分科会（中学校英語・TV・自作教材）

TVの位置づけ、その特性、LLとの関係、自作の意義などが話され、双方の関連や、番組利用の意図を教師が十分は握る必要性など話された

○第十分科会（中学校PTA・TV）

中学生日記「忘れもの」を視聴後、バズにより物を大切にする心構えが話された。テレビの視聴者に与える情動の大きさが改めて証明された。

全体会・記念講演

自作ビデオ「岡崎市制60年の歩み」「保健体育

科におけるVTRのカガミの利用」(矢中、大久保慎一教諭)「岡崎市放送教育の現状と研究の方向」(指導員・加藤憲尚教諭)のほか小中PTA代表の発表があつた。特に大久保先生の発表は、日頃の地道な研究の成果として感銘を与えた。記念講演(水越敏行先生)については追つて各校へ再録して配布します。

学校だより「竜谷小学校」

若い先生の多い私たちの学校は、テレビは各学級に設置され活発に利用されています。TPシートも、ここ二、三年でかなりそろい、今後の活用が期待されます。新任教員の「OHP講習会」では本校の先生が大変優秀な作品をつくつたというホットニュースもあります。とにかく若さでもつ竜谷小といつてもいいでしょう。

N・H・K学校放送研究委嘱校決まる

昭和五一、五二年度にわたる愛知県のNHK学校放送研究委嘱校として小中とも岡崎市の次の学校が決定しました。

小学校――岡崎市立愛宕小学校

中学校――岡崎市立竜海中学校

両校を中心に今後の研究も進めたいものです